

鏡石町立第一小学校 改築に係る提言書

▲震災前の第一小学校校舎

▲プレハブ造りの仮設校舎、一刻も早い本校舎の建設が望まれます

11月10日(木)鏡石町立第一小学校校舎改築検討委員会から、改築計画の基本的な考え方の最終報告書が遠藤町長へ提出されました。

改築検討委員会による提言書

今回の東日本大震災により大きな被害を受けた第一小学校校舎の改築に向けた基本的な考え方を検討するため、公募や関係者により構成された、「鏡石町立第一小学校改築検討委員会(林実委員長)」では、9月から4回にわたり協議を重ね、下記の4点についての提言書が遠藤町長に提出されました。

震災により大きなダメージ

第一小学校は建設から40年余りが経過しており、これまで耐震診断をはじめ、耐力度調査を実施し早期の改築に向けて検討を始める時期に来ていた矢先に今回の大震災で大きな被害に遭い、専門家の調査により「改築が妥当」との診断が下されました。そのため、子どもたちは、年度末という節目の時期に休校を余儀なくされ、新年度からは第二小学校の空き教室や構造改善センターでの授業となりました。二期からは、元の校舎の敷地へ仮設校舎が設置され、通学の不便さは解消されたも

改築場所は同じ場所を希望

の、校庭が十分に使えなかつたりするなど子どもたちの心の傷跡は大きいものになっています。



▲林検討委員長から提言書を受け取る遠藤町長

提言書では、委員会の考え方をまとめており、特に改築した小学校の建設場所については、まちづくりや安全性、費用の面なども勘案し「現在地とする」という意見となりました。

提言書を受け取った遠藤町長は「報告書を最大限考慮して一刻も早く基本設計を行い」と話していました。

町では、今後、提言書の内容を踏まえた上で、議会や庁内での検討委員会を開催し、早期改築に取り掛かれるよう検討を進めていく予定です。

提言書の主な内容

I 校舎建設の位置について

仮設校舎での授業という不自由な状態をできるだけ早期に解消し、子供たちに良好な教育環境の下で授業を受けさせることが急務であることから、第一小学校校舎の建設位置は「現在地とする」ことが大多数の意見でした。

また、改築の際には、既設の体育館等と効率的かつ有機的に連携するとともに、体育館は、災害時の避難所でもあることから、給食室が隣接するなど、校舎の配置に工夫した校舎建設を望む意見も多く出されました。

II 校舎主体構造・階層等について

今回の東日本大震災を経験し、児童がより安全であることを第一として、鉄筋コンクリート2階建ての校舎(校舎敷地の関係から特別教室・多目的ホール・給食室等は3階建て可)を基本として、内部には、木の温かさが感じられるよう木材を豊富に使用した校舎とするなどの意見が多出されました。

III 校舎の機能及び配置等について

地球環境に配慮した「エコ機能」を取り入れた学校であり、ユニバーサルデザイン、鉄筋コンクリートの強さと木を豊富に使った人に優しい壁と床面を設置することなどの意見が出されました。

また、地域との交流ができるような多目的スペースの設置、特別支援学級の位置の配慮や、放課後児童クラブや児童館の併設など、子育て支援対策の充実を図ること。校舎の配置についても、校庭の西側に国道4号が縦断しているため、「騒音」が心配されることから騒音対策を講じる事など環境への不安解消への意見も出されました。

IV その他

- ①校庭の一角にある「忠霊塔」を移転することで、校庭が広く利用できるため、この際、「忠霊塔を移転すべきである」との意見について、検討委員会の総意として要望する。
- ②授業参観などで駐車場が狭いため、駐車場の設置について検討してほしい。
- ③和式トイレより洋式トイレの設置を望む。
- ④緊急時の一斉メール配信のできるシステムの採用

凍結から 水道管を 守りましょう



冬になると水道が凍結しやすくなり、水道管やメーターが破裂することがあります。凍結しやすい場所には、保温材を取り付けけるなど早めの防寒対策をしましょう。

- ◆こんなところが要注意
- 水道管がむき出しになっているところ
- 風あたりの強いところにある水道管やメーター
- 北向きで日の当たらないところにある水道管やメーター
- ◆水道の凍結を防ぐには
- 水道管や蛇口の部分に保温

◆除雪についてのお願

都市建設課では、町道に、新雪で15cm程度、圧雪で10cm程度の積雪があれば除雪を行います。

除雪作業は、町内建設業者に委託して行いますので、すべての路線を除雪することはできません。バス路線や通学

- 自然にとけるのを待つか、凍った部分にタオルなどをかぶせ、その上からゆつくりとぬるま湯をかけながらとくしてください。
 - 急に熱湯をかけると、水道管や蛇口が破裂することがありますので注意しましょう。
 - ◆水道管が破裂したときは
 - 慌てずに水抜き栓で水を止
- 材を取り付ける。
- 水道管の水抜きをする。
 - メーターボックス内の保温をする。
 - ◆水道が凍って水が出ないときは
- 路を優先的に除雪いたします。なお、積雪の状況、天候などにより除雪作業の進行が変動しますのでご理解ください。特に今年は震災の影響で道路状況が不安定なため、雪道を通行する際は、十分注意して走行してください。
- また、除雪作業を円滑に行うために、皆さんには次のことにご協力ください。
- 路上駐車やみ出し駐車、自転車やバイクなどの放置はやめてください。
 - 道路にはみだしている生け

- め、町指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。
- 水抜き栓のある場所は前もって確認しておいて下さい。
 - メーターが破裂したときは、上下水道課にご連絡ください。
- ◎問い合わせ先
- 上下水道課 ☎62-2348
62-2119
- 垣や庭木の枝は、せん定をお願いいたします。
- 除雪作業後、家庭の入り口などに雪が残る場合もありますので残雪処理にもご協力をお願いします。
- なお、県道の除雪は、須賀川土木事務所(☎75-3196)が担当しています。国道4号線は、郡山国道維持出張所(☎024-932-4486)が担当です。
- ◎問い合わせ先
- 都市建設課 ☎62-2116



雪への心構えを



遠藤町長へ受章報告のため訪れた町赤十字奉仕団の鈴木輝子委員長

日赤奉仕団員の信条

- 全ての人々の幸せを願い、陰の力となって人々に奉仕する
- 常に工夫して、人々の為により良い奉仕が出来るよう努める
- 身近な奉仕を広げ、全ての人々と手をつないで、世界の平和に尽くす



鏡石町赤十字奉仕団

11月8日、郡山ビューホテルで開催された「赤十字ボランティアのつどい」において、鏡石町赤十字奉仕団が設立20周年を迎えたことに伴い、日本赤十字社より金色有功章が贈られました。

赤十字奉仕団とは、赤十字の博愛人道の精神に基づき、明るい住みよい社会をきずきあげていくために必要な実際の事業に奉仕する団体です。奉仕団は、身近な社会のために奉仕しようとする、地域の有志の皆さんで構成されています。

鏡石町赤十字奉仕団でも、毎年、福祉バザーへの協力や健康教室の開催、また、各種募金活動やボランティア活動を行っています。特に今年度は、東日本大震災において、避難所での炊き出しへの協力を行いました。

鏡石町赤十字奉仕団では、これからも奉仕団員の信条をモットーに身近な人々のお役にたてればと仰っていました。

鏡石町赤十字奉仕団が金色有功章を受章